放課後等デイサービス とねりこクラブ 2025年度支援プログラム (2025年3月13日作成)

小学校低学年		期(4-8月)	期 (9-12月)	Ⅲ期 (1-3月)
健康・生活	ねらい	サポートを受けつつ、自分の身辺自立を目指す	サポートを受けつつ、自分の身辺自立を目指す	健康で安全に過ごすためのルールを知る
	支援内容	○横断歩道の渡り方・信号の見方・バス・地下鉄の乗り方を知る(交通安全ルール)	○道路の歩き方・交通標識の見方・バスや地下鉄の乗り方を知る(交通ルール)	○道路の歩き方・交通標識・マナーを守って交通機関を利用する(交通ルール)
		○手洗い・手指消毒をしっかり行う	○避難訓練(火災)どうやって避難するか確認	○避難訓練(地震)どうやって避難するか確認
		○菌が体の中に入るとどうなるかについて知る	○混ぜる・半分に切る(調理)	○重さを計る、こねる (調理)
		○シャツはズボンの中に入れる	○寒くなったら、上着を着る(衣服調節)	○正しい手洗いの仕方を確認する
		○自分の荷物は自分の棚の中に入れる	○自分の荷物は自分の棚の中に入れる	○寒くなったら、上着を着る(衣服調節)
		○暑くなったら脱ぐ(衣服調節)		○自分の荷物は自分の棚の中に入れる
認知	わらい	とねりこクラブのルールを知る	とねりこクラブのルールを知る	とねりこクラブのルールを知る
運動	14.50	友達の存在を知る	友達との関わり方を知る	友達との関わり方を知る
	支援内容		○「友達をたたかない」「おもちゃを勝手に出さない」「2階にはいかない」「窓を勝手に開	
		けない」などのお約束をイラスト付きで提示	けない」などのお約束をイラスト付きで提示	付きで提示
		○入室から荷物の片付け、出席カードにシールを貼るまでの動線を絵カードを使って提示	○入室から荷物の片付け、出席カードにシールを貼るまでの動線を絵カードを使って提示	○正しい姿勢でたっている写真を提示。 意見を発表する時などに意識できるよう見せる
		○気が散らないように絵本棚や棚は布をかけておく	○正しい姿勢で座っている写真を提示。話を聞く時などに意識できるよう見せる	○見通しをもって作戦を立てる必要のあるアナログゲームを実施する(ばかばかおうま)
		○遊具は引き出しに写真を貼って、片づける場所を提示する	○ルールが簡潔で見通しがつきやすいアナログゲームを実施する(雲の上のユニコーン・お菓	
		○順番交代があり、勝敗がつかないアナログゲームを実施する(sticky・キャプテンリノ・に		○スケジュールを見て、見通しをもって行動する
		げろおさかなくん)	○50円玉を使ってお買い物ごっこ	○気持ちを切り替えるために絵本の部屋を利用する
				○目と手の連動(コロコロボールキャッチ)
		○10円玉を使ってお買い物ごっこ ○与持さま芸さ 美はなさめの感覚さなが (きたし、マニスノ、・ポ・・ブマ・・ブ) もぎした	〇スケジュールを見て見通しをもつ 〇の思想が提供とする例えて (中郷) ピーバ	〇日と子の建動(コロコロホールギャッテ)
	Ja S. L.	○気持ちを落ち着けるための感覚あそび(粘土・スライム・ポップアップ)を楽しむ	〇空間把握能力を鍛える(宝探しゲーム)	特が大ストラーローム Tert か Vert おかします
	ねらい	姿勢保持に必要な筋力の維持・強化と意識づけを図る	遊びを通して上肢や下肢の運動、動作を改善し、強化する	遊びを通して上肢や下肢の運動、動作を改善し、強化する
		遊びを通して上肢・下肢の運動・動作の改善を行う	感覚を活用できるような遊びを行う	感覚を活用できるような遊びを行う
		感覚を活用できるような遊びを行う	より細かな手先の運動を行い、改善する	より細かな手先の運動を行い、改善する
	1.07.1.4			遠足で遠い場所に行き、交通機関を利用して移動能力向上を図る
	支援内容	○正しい姿勢を保持する (SST)	○まっすぐボールを転がす (転がしドッジボール)	○ボールを投げる (ビーチボールドッジボール)
		○的を狙ってボールを転がす(転がしドッジボール)	○追視の練習をする(風船バレー)	○相手が取りやすいところにボールをはじく (風船バレー)
		○追視の練習をする(風船バレー)	○目と手を連動させて動かす(コロコロボールキャッチ)	○目と手を連動させて動かす (コロコロボールキャッチ)
		○目と手を連動させて使う(コロコロボールキャッチ)	○折り紙を折る、しっかり折り目をつける(製作活動)	○様々な道具を使って絵を描く (製作活動)
		〇ハサミを安全に使う (製作活動)	○こねる、切る動作を経験する (調理)	○長距離を歩く(海の中道海浜公園などへの遠足)
人間関係・社会性	ねらい	アタッチメントの形成と安定	アタッチメントの形成と安定	遊びを通じた社会性の促進
		情緒の安定	遊びを通じた社会性の促進(模倣行動・並行遊び)	他者との関わり(人間関係)の形成
	支援内容	○子どもが基本的な信頼感をもつことができるように、環境に対する安心感○信頼感、人に対		○感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ
		する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う	自分の感情に折り合いをつけたり出来るよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援する	遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する
		(コーナー遊び・自由遊び・お約束の確認・スケジュールの確認・自己紹介やあいさつ等の	(「きついときはパス出来ますなどのお約束の確認・一対一対応・自由遊び・「ちょうど良	(ウォーミングアップ・運動療育・指先トレーニング・実験チャレンジ・お店屋さんごっこ・
		SST)	い距離を探そう」「嫌やめてを言おう」などのSST)	レゴブロック)
		○自身の感情や気持ち、生理的な状態像に関心を持ち、その変化の幅をが小さく安定した情	○遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援する	○一人遊びから並行遊びへの支援
		緒の下で生活ができるよう支援する	(ウォーミングアップ・実験チャレンジ・指先トレーニング・運動療育)	(コーナー遊びでの並行遊び・絵本・レゴプロック・お絵描き・工作)
		(自由遊び・一対一対応・「ちょうど良い距離を探そう」等のSST)	○一人遊びから並行遊びへの支援	○他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に
			(コーナー遊びでの並行遊び・絵本・レゴブロック・お絵描き・工作)	応じた適切な行動ができるよう支援する
				(自由遊び・ウォーミングアップ・司会への質問・「上手な断り方」「質問に答えよう」
				「話をきこう」などのSST)
言語・コミュニケーション	ねらい	挨拶の種類や仕方を学ぶ。	困った時の要求の仕方について学ぶ	意見の聞き方を学び、相手の話に耳を傾ける。
		自己紹介の仕方を学び、相手に伝える。	要求の仕方を実践的に行う。	相槌について学び、会話の中で意識する。
		自己紹介をしたり、聞いたりする。	ニコニコ言葉チクチク言葉について学ぶ	
	支援内容	○挨拶にはどんな種類があるのか考え、友達や先生に対して実践する。	○困った時の要求「貸してください」等を実践的に学び、支援者や友達に伝えられるようにす	○お友達が話したことに対して耳を傾けて、会話をする。
		○お友達に自分の事を知ってもらうための自己紹介を考える。	3.	○お友達や先生が話したことに対して、反応を返し、コミュニケーションを楽しむ。
		○自己紹介をしたり、聞いたりすることで、お友達について知ろうとする。	○良い言葉かけ悪い言葉かけについてを学び、友達に対して気持ちの良い言葉かけをする。	
			1	I